

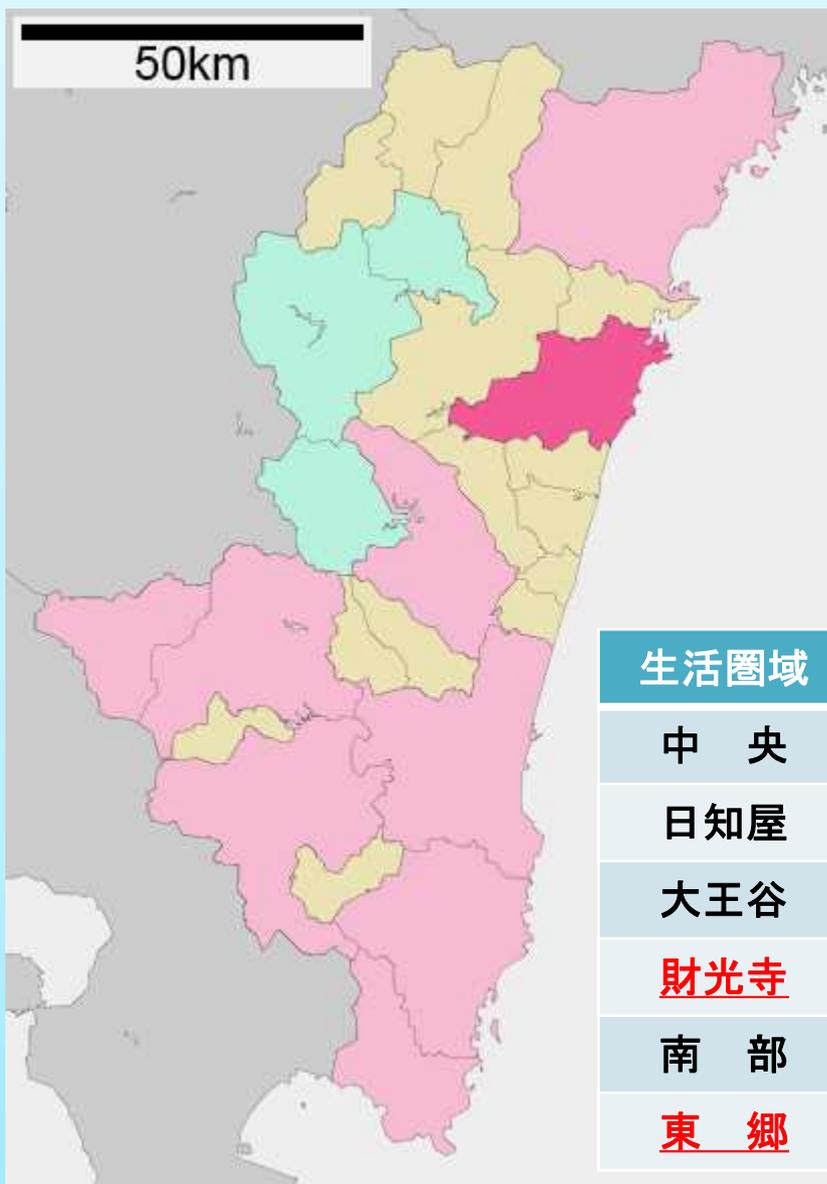
平成29年度
第2回九州厚生局地域包括ケア
市町村セミナー（鹿児島会場）

平成29年7月10日（月）

宮崎県日向市における 生活支援サービス提供体制構築事業の概要 ～課題の発見・抽出と解決機能の住み分けについて～

宮崎県日向市健康福祉部高齢者あんしん課

【参 考】 宮崎県日向市の概要



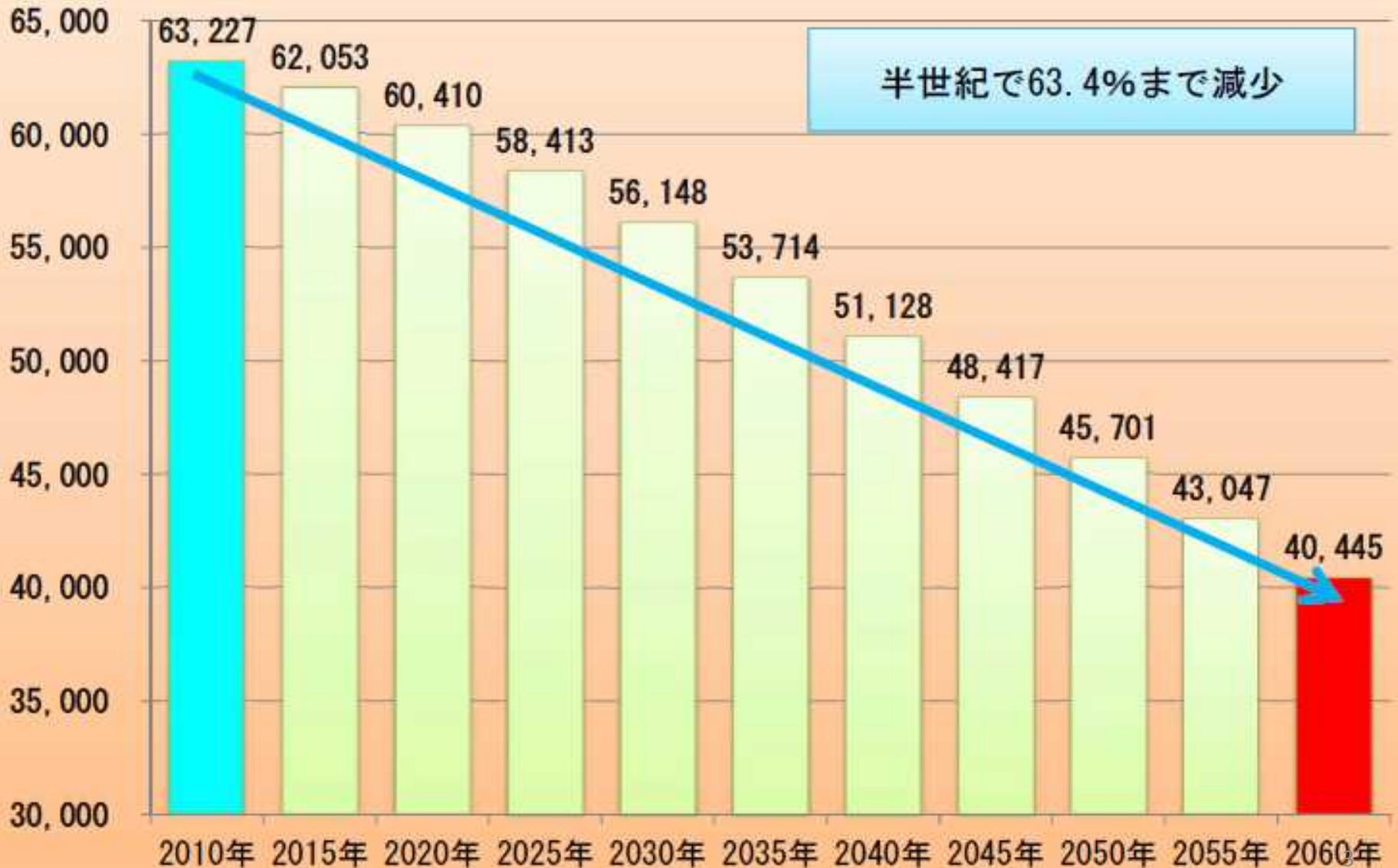
人口	62,407人
高齢者人口	18,474人
高齢化率	29.60%
包括(生活圈域)数	6か所

※平成29年6月1日現在

生活圈域	人口	面積	人口密度	高齢化率
中 央	13,512人	40.86km ²	301人	29.47%
日知屋	13,942人	12.73km ²	1,095人	24.50%
大王谷	10,642人	11.14km ²	955人	20.64%
財光寺	14,676人	8.81km²	1,666人	24.26%
南 部	7,015人	70.02km ²	100人	30.99%
東 郷	3,542人	189.73km²	19人	42.72%

【日向市の現状】人口推計

日向市における総人口の推計（人）



出典：国立社会保障・人口問題研究所日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）

【推計】75歳以上を支える現役世代

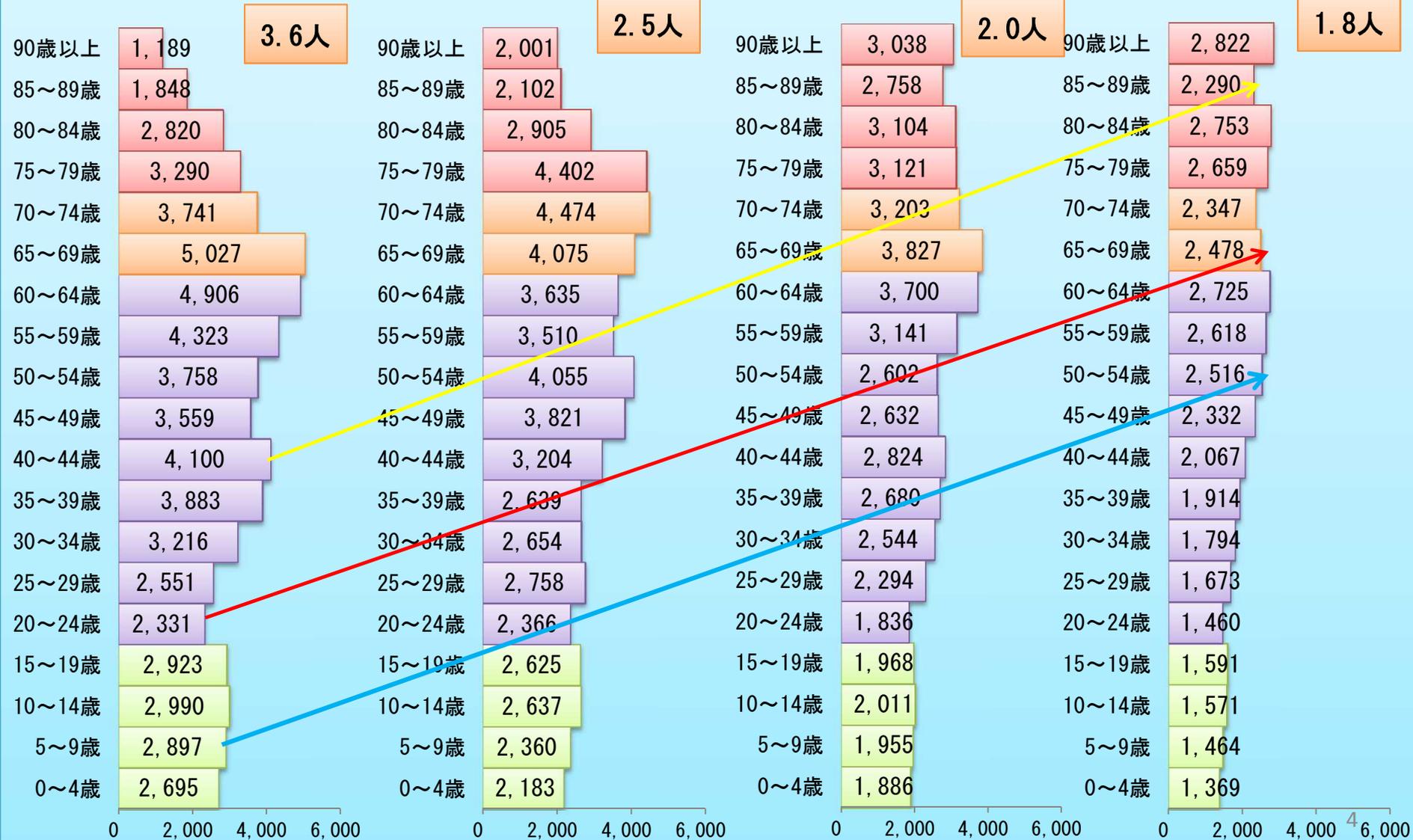
20-65歳75歳以上を支える割合

2015年（現在）

2025年（10年後）

2040年（25年後）

2060年（45年後）



出典：国立社会保障・人口問題研究所日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）

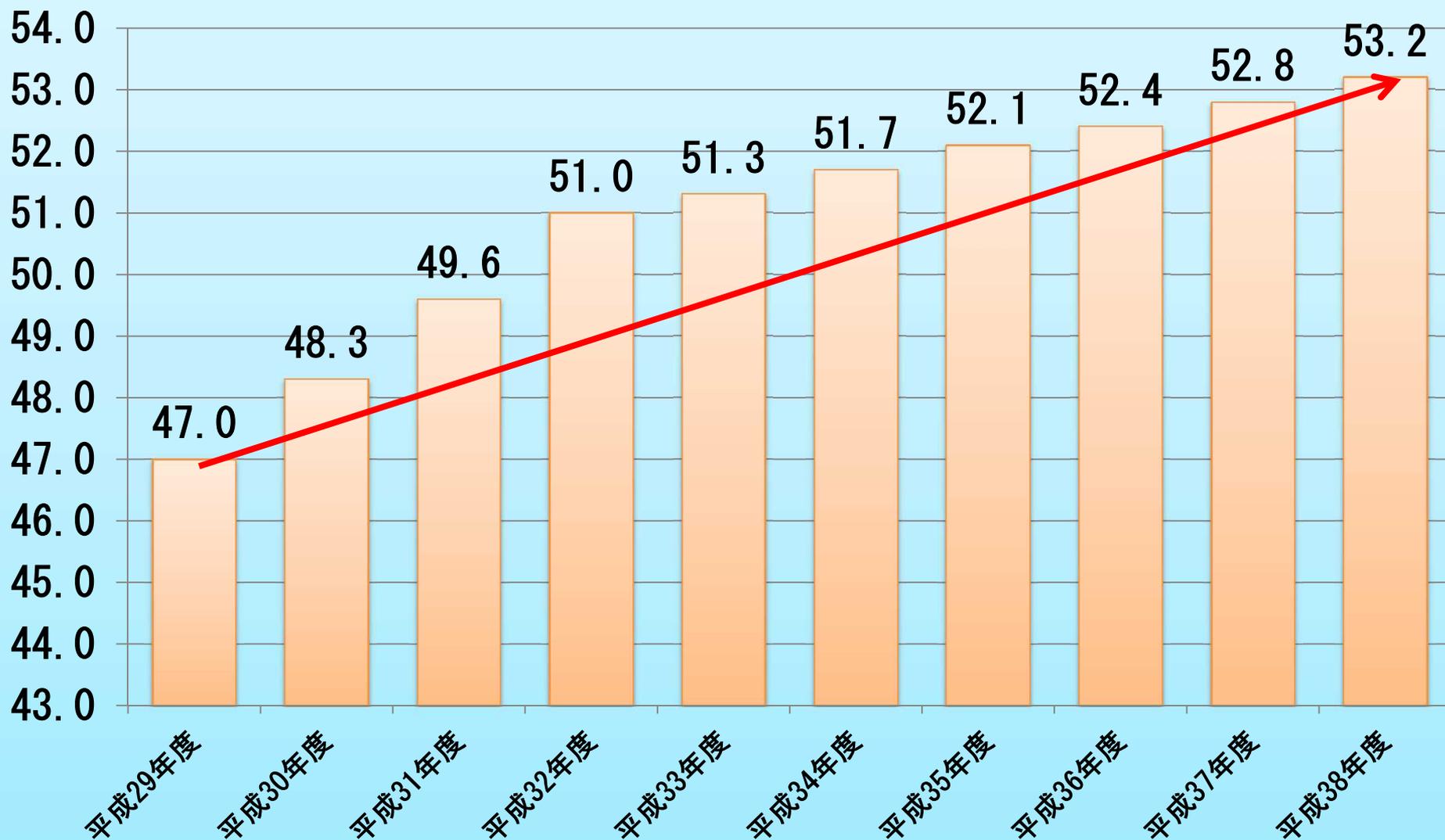
【推計】日向市における要介護認定者総数

要介護認定者数(人)



【推計】日向市における介護給付費額

介護給付総額(億円)



【スタート】地域包括ケアシステムって“何？”

これまでの経歴	業 務
教育委員会採用	体育協会担当
商工港湾課	企業誘致担当
宮崎県へ出向	財政・人事担当
財政課	予算担当
秘書広報課	市長秘書
高齢者あんしん課	地域ケア推進担当
※初めての福祉畑、初めての窓口業務	

宮崎県・地域包括支援センター・生活支援コーディネーター・同僚の力強い理解とバックアップがあったからこそ“素人”でも“地域包括ケアシステム”体制の構築をスタートできた“取敢えず”遍歴を紹介させてもらいたいと考えています。

【取敢えず1】 和光市東内部長の講演を聞きに

日時等	内 容
期 日	平成28年4月27日
場 所	県内首長トップセミナー（県主催）
感 想	正直頭から湯気が出て、理解できず。
	自分にはムリ。
	<u>とりあえずは、出来るところから。</u>
	<u>日向市は遅れているかもしれない。</u>

【取敢えず2】 目標・進捗状況をまとめてみた・・・。

包括的支援事業の進め方について(総括版)

1 平成30年3月(平成29年度中)までに整備すべき事業

事業名	現状
(1) 地域ケア会議の充実	〇地域ケア会議(3/7名)で整備
(2) 在宅医療・介護連携の推進	〇一部進行中(平成27年度末進捗率12.5%)
①地域の医療・介護サービス資源の把握	〇未着手
②在宅医療・介護連携課題の抽出と対応策の検討	〇未着手
③切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進	〇未着手
④医療・介護関係者の情報共有支援	〇未着手
⑤在宅医療・介護連携に関する支援相談	〇未着手
⑥医療・介護関係者の研修	〇未着手
⑦地域住民への普及啓発	〇未着手
⑧在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	〇平成27年度事業で実施済み
(3) 認知症施策の推進	〇整備済み
①認知症初期集中支援チームの整備	〇平成27年度に整備済み
②認知症地域支援推進委員の設置	〇平成21年度に整備済み
(4) 生活支援サービスの体制整備	〇未着手
①生活支援コーディネーターの配置	〇未着手
②生活支援共同体(協議体)の設立	〇未着手

2 現状把握

事業名	現状
(1) 地域ケア会議の充実	〇地域ケア会議(3/7名)で整備
(2) 在宅医療・介護連携の推進	〇一部進行中(平成27年度末進捗率12.5%)
①地域の医療・介護サービス資源の把握	〇未着手
②在宅医療・介護連携課題の抽出と対応策の検討	〇未着手
③切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進	〇未着手
④医療・介護関係者の情報共有支援	〇未着手
⑤在宅医療・介護連携に関する支援相談	〇未着手
⑥医療・介護関係者の研修	〇未着手
⑦地域住民への普及啓発	〇未着手
⑧在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	〇平成27年度事業で実施済み
(3) 認知症施策の推進	〇整備済み
①認知症初期集中支援チームの整備	〇平成27年度に整備済み
②認知症地域支援推進委員の設置	〇平成21年度に整備済み
(4) 生活支援サービスの体制整備	〇未着手
①生活支援コーディネーターの配置	〇未着手
②生活支援共同体(協議体)の設立	〇未着手

3 目標の設定(包括ケア推進係案)

事業名	現状
(1) 地域ケア会議の充実	〇コミュニティ(自立支援型)方式で実施 平成28年度補給会議、平成29年度正式会議 〇地域ケア会議は平成28年度全包括に設置
(2) 在宅医療・介護連携の推進	〇随時着手(現在12.5%⇒H28進捗率75.0%)
①地域の医療・介護サービス資源の把握	〇延岡方式で実施
②在宅医療・介護連携課題の抽出と対応策の検討	〇平成28年度事業(東直営事業)
③切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進	〇平成28年度事業(東直営事業)
④医療・介護関係者の情報共有支援	〇平成28年度事業(東直営事業)
⑤在宅医療・介護連携に関する支援相談	〇平成29年度事業で実施
⑥医療・介護関係者の研修	〇平成28年度事業(講演会方式)
⑦地域住民への普及啓発	〇平成28年度事業(講演会方式)
⑧在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	〇実施済み(東白井振興協議会)
(3) 認知症施策の推進	〇整備済み
①認知症初期集中支援チームの整備	〇平成27年度に整備済み
②認知症地域支援推進委員の設置	〇平成21年度に整備済み
(4) 生活支援サービスの体制整備	〇平成29年度事業で実施
①生活支援コーディネーターの配置	〇平成29年度事業で実施
②生活支援共同体(協議体)の設立	〇平成29年度事業で実施

4 今後に向けて(詳細部参照)

事業名	現状
(1) 地域ケア会議の充実	〇県モデル事業として実施
(2) 在宅医療・介護連携の推進	〇平成29年度中までに仮完了
①地域の医療・介護サービス資源の把握	〇地域医療推進事業実施を前提に協議
②在宅医療・介護連携課題の抽出と対応策の検討	〇平成28年度事業(東直営事業)
③切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進	〇平成28年度事業(東直営事業)
④医療・介護関係者の情報共有支援	〇平成28年度事業(東直営事業)
⑤在宅医療・介護連携に関する支援相談	〇地域医療推進事業実施を前提に協議
⑥医療・介護関係者の研修	〇講演会実施時期の検討(東補助事業)
⑦地域住民への普及啓発	〇講演会実施時期の検討(東補助事業)
⑧在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	〇既存の二次医療圏広域連携の継続
(3) 認知症施策の推進	〇整備済み
①認知症初期集中支援チームの整備	〇平成27年度に整備済み
②認知症地域支援推進委員の設置	〇平成21年度に整備済み
(4) 生活支援サービスの体制整備	〇未着手
①生活支援コーディネーターの配置	〇委託先の検討
②生活支援共同体(協議体)の設立	〇総括、事業委託、総合事業との関連性の整備

＜包括的支援事業の進捗状況＞

○現状把握

- ◇圏域別地域ケア会議（3/6包括で整備）
- ◇自立支援型地域ケア会議（個別会議）（未整備）
- ◇医療と介護の連携（1/8事業）
- ◇生活支援（コーディネーター・協議体ともに未整備）
- ◇認知症関連（整備済み）

【取敢えず3】大分県内のケア会議を見に行ってみた

日時等	内 容
期 日	平成28年5月18日・19日（県主催）
場 所	大分県先進市町村
感 想	先進地担当者のファシリに感動
	P T、O T、S Tの意見が分かりやすい。なるほど！
	総合事業を整備しないといけない。
	<u>給付だけでは支えきれないことがある！ ⇒ 色々を受け皿を作り出さないといけない！ふむふむ・・・。</u>

【取敢えず4】 課内係長会に提案してみた（個別会議）

日時等	内 容
期 日	平成28年5月27日
参加者	課長、介護認定・介護給付・高齢者支援担当係長
意 見	課員への影響が大きすぎる。
	包括職員への影響が大きすぎる。
	ケアマネへの影響が大きすぎる。
	<u>取敢えず、高齢者あんしん課全職員に対する説明会をしてみたら。</u>

【取敢えず5】 高齢者あんしん課内職員への説明会

◇【日向市の現状】人口推計



◇【日向市の現状】介護事業に係るお金



◇今後どう取り組む日向市の介護保険？

現況

- 1人当たりの給付額は減少もしくは、横並びの状況。
- しかし、給付総額は増加し続けている。⇒単純に高齢者の増加が要因

推計

- 今後とも高齢者総数は増加することが予測されている。
- 認定率も増加することが予測されている。⇒費用は確実に増加
- 一方で、高齢者を支える現役世代は減少することが予測されている。

対策

- 高齢者の更なる増加は避けられない。
- 認定率を下げるしかない。
- そのためには、高齢者の皆さんに元気に(自立を支援)してもらおう。

そこで導入するのが、**自立支援型地域ケア会議**

◇【日向市の現状】75歳以上の人口推計



◇【推計】日向市における要介護認定者総数



◇介護保険法の精神とは？

【目的】

第一条 (略)入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者が尊厳を保持し、その有する能力に**応じ自立した日常生活を営む**ことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行うため、国民の共通連帯の理念に基づき介護保険制度を設け、その行う保険給付等に関して必要な事項を定め、もって国民の保健医療の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。

【介護保険】第二条

2 前項の保険給付は、**要介護状態等の軽減又は悪化の防止**に資するよう行われるとともに、**医療との連携**に十分配慮して行われなければならない。

3 第一項の保険給付は、被保険者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、被保険者の選択に基づき、**適切な保健医療サービス及び福祉サービス**が、多様な事業者又は施設から、**総合的かつ効率的に提供**されるよう配慮して行われなければならない。

4 第一項の保険給付の内容及び水準は、被保険者が要介護状態となった場合においても、可能な限り、その**居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む**ことができるように配慮されなければならない。

【国民の努力及び義務】

第四条 国民は、自ら**要介護状態となつてを予防**するため、加齢に伴って生ずる心身の变化を自覚して常に**健康の保持増進に努め**るとともに、要介護状態となった場合においても、進んでリハビリテーションその他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その**有する能力の維持向上に努め**るものとする。

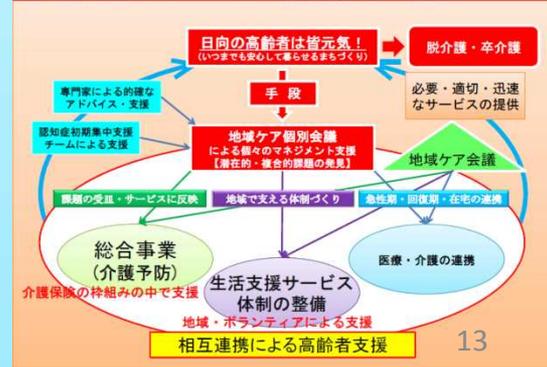
◇【日向市の現状】高齢者を何人で支える？



◇【推計】日向市における介護給付総額



◇地域包括ケアシステム関連事業の相関性



課内説明を経ての気付き

○地域包括ケアシステムへの理解

○整備していく優先順位の見定め

※ただし、この段階では生活支援コーディネーター・協議体の重要性・必要性は認識できず。優先順位は最下位！

○実施と実施しないことによる将来への影響

○絶望感 ⇒ 何からやればいいものか・・・。

結構なやらされ感⇒のちに変化！

○絶望感の共有 ⇒ 大変なことになっている！

○周りを巻き込むことの重要性

○周りに理解してもらうことの重要性

【取敢えず6】市民・包括・事業所などへの現状説明

回りに理解してもらうために説明会を実施

- 真っ先に、地域包括支援センター職員へ相談
- 市長・副市長へ現状、取組むべきことを説明
- 財政、職員課へ今やるべきこと・将来推計を説明
- 労働組合へ今やるべきことを説明⇒採用職種
- 市民へ説明
- 居宅事業所をはじめ、介護事業所職員へ説明

【結果】

- ・ 関連説明会の実施件数（平成28年度中：118回）
- ・ 新年度採用職員専門職枠が増加
- ・ 組織の垣根を越えた意見の集約⇒予算の満額回答
- ・ 民生委員・地域住民・薬剤師等の専門職などとのつながり

【取敢えず6】 市民・包括・事業所などへの現状説明

生き生きと



いきいきサロン
高齢者の生きがいづくりや、福祉課題の把握と早期発見などを目的に、住民主体で公民館などを会場に実施しています。

16日1時半～
広見公民館

7日1時半～
教先生の元自宅

認知症カフェ

コミュニティカフェ

高齢者の人やその家族が安心できる居場所づくりや出会いの場として、市内各所で公民館などを会場に実施しています。

地域包括ケアシステムのイメージ



地域包括支援センター
※実施の体感しやすさの要因

地域包括支援センターは市内に6か所あり、介護・福祉などの総合的な相談に対応し、サポートすることを主な役割としています（事業所はホームページに掲載しています）。



南郷地域包括支援センター 社会福祉士
矢野 加奈子さん

高齢者の生きがいづくりや、福祉課題の把握と早期発見などを目的に、住民主体で公民館などを会場に実施しています。

高齢者を活かせる「受け皿」の重要性

高齢者が住み慣れた場所でありたいという思いが強い一方で、地域に目を向けると、介護サービスや活動の場が不足していることが多く見られます。地域に目を向けると、介護サービスや活動の場が不足していることが多く見られます。

地域包括支援センターは市内に6か所あり、介護・福祉などの総合的な相談に対応し、サポートすることを主な役割としています（事業所はホームページに掲載しています）。

みんなで支えあえる地域づくりを

地域包括支援センターは、高齢者がその家族、地域のみなさんと一緒に暮らすことができるように、必要なサービスを提供し、手助けの代わりをします。

高齢者あんしん課長
柏田 武浩さん



個別の介護プランについて、コマギ主要介護の人たちが意見を交わし、支援に寄り添う「地域ケア個別会議」。平成28年11月から導入し、第2・第4水曜日に開催しています。平成29年度から介護水曜日に開催する予定です。



ケアマネジャー
岩田 孝一郎さん

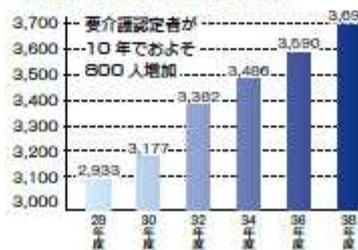
支援体制の強化に期待

私たちは、「ケアプラン」という高齢者の人たちの状況に合わせた介護サービスを提供するための支援計画を立てています。市と連携して取り組んでいる「地域ケア個別会議」は、その支援計画をさまざまな職種の人たちから意見をもらい、一緒につくりあげていくというものです。自分では気づけない点なども、計画に組み込めるので、高齢者の人々への支援体制が強化されるのではないかと期待しています。

地域包括支援センターは、高齢者がその家族、地域のみなさんと一緒に暮らすことができるように、必要なサービスを提供し、手助けの代わりをします。

地域包括支援センターは、高齢者がその家族、地域のみなさんと一緒に暮らすことができるように、必要なサービスを提供し、手助けの代わりをします。

●日向市の要介護認定者の推移(人)



●介護保険の費用



時宜を得た宮崎県によるモデル事業募集

- 開始時期、実施内容、専門職への対応等に展望を持ってない時期に助け舟
- 課内係長たちへ相談
- 地域包括支援センター職員へ相談
- 何よりも埼玉県和光市の支援が受けられることへの期待感
 - ⇒和光市のケア会議にも参加（県主催）
 - 包括センター長のファシリに衝撃を受ける。
※地域包括支援センターの重要性を再認識
 - 助言者の助言内容に納得
※課題に対し、誰が、いつ、どのように関わるかを的確に助言

【参考】日向市における地域ケア個別会議の実施状況

	平成28年度	平成29年度
頻 度	第2・4水曜日	毎週水曜日
時 間	午前10時～正午	午前10時～正午
対象 1	総合事業・要支援1・2/新規	総合事業～要介護2/※新規
提 供	包括プラン（3件）	包括・居宅プラン（3件）
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ○行政 措置・保護・障害・認定・給付担当など ○専門職 PT・OT・ST・管理栄養士・歯科衛生士・薬剤師 など ○その他 地域包括支援センター・生活支援コーディネーター 	

【プロローグ】言いつぱなし、やりっぱなし会議

【助言】埼玉県和光市東内部長

- 自立支援型個別会議をしていくと、現在の給付サービスでは対応できないものが出てくる。
- ないならサービスを作ればいい。
- 住民に受け皿となってもらうべきものは、生活支援コーディネーターに動いてもらえばいい。
- だから自立支援型個別会議には、生活支援コーディネーターが参加する
といいのだ！ ⇒ 正直イメージがつかず。

1 ある日の自立支援型ケア会議

- Aさん、78歳、女性、下肢筋力の低下とMCIにより現在通所型サービスを受けています。
- 通所で下肢筋力の強化を行い卒業に向かっていきましょう。
- しかし、地域に卒業後の受け皿がないんです・・・。
- しかたないので、このまま通所に行くしかないですね。

2 ある日の圏域別ケア会議

- 皆さん、本日は地域の困りごとを話していきましょう。
- 通いの場がないよね。通いの場を運営してくれる人がいないよね。
- 今日もたくさんの困りごとが出てきましたね。では、解決するには？
- それでは、次回のケア会議の開催日時と場所は・・・。

【始めたものの】これでいいのか！？

1 ある日の自立支援型ケア会議

- Aさん、78歳、女性、下肢筋力の低下とMCIにより現在通所型サービスを受けています。
- 通所で下肢筋力の強化を行い卒業に向かっていきましょう。
- しかし、地域に卒業後の受け皿がないんです・・・。
- しかたないので、このまま通所に行くしかないですね。

受け皿がないから介護保険？おかしくない？

1 ある日の圏域別ケア会議

- 皆さん、本日は地域の困りごとを話していきましょう。
- 通いの場がないよね。通いの場を運営してくれる人がいないよね。
- 今日もたくさんの困りごとが出てきましたね。では、どうやったら解決できるでしょうか？ ⇒ し～ん。
- それでは、次回のケア会議の開催日時と場所は・・・。

でどうするの？

住民の皆さんに自分たちの困りごとだから、
自分たちで解決しろということ？

【登場】課題を抽出する場(人)と課題を解決する場(人)

- 地域の資源をつくり出す場 ⇒ 協議体
- 地域の資源をつくり、つなげていく人 ⇒ コーディネーターの必要性が急浮上！（実は一番重要）



課題の抽出の場	課題を解決する場
<ul style="list-style-type: none">○圏域ごとに開催するケア会議○自立支援型地域ケア個別会議※別添資料参照	<ul style="list-style-type: none">○仕訳け定例会（第1層協議体）※別添資料参照○課題別協議体（第2・3層）



方針・結果を抽出会議メンバーに報告

- この課題は自助・共助になりますので、もう一度皆さんで考えてみましょう。
- 皆さんから課題を出していただいたおかげで、このような受け皿を作ることができました。 などなど。

【例えば】財光寺地区で高齢者が集う場所がない！

- 運営する人を作らないといけないよね。
- 無償ボランティアでは長続きしないのでは？
- せっかく集まったからには、体操とか、認知機能に関する何かができるといいよね！
- 素人でできるの？



協議体・生活支援コーディネーターの登場！

第2層協議体	コーディネーター
<ul style="list-style-type: none">○運営費・有償ボランティア経費 ⇒財光寺商店街○体操教室 ⇒ ボランティア○認知 ⇒ 認知症疾患センター○スタッフ養成 ⇒ 包括・専門職	<ul style="list-style-type: none">○大まかな実施内容・方針を決定○内容に適した協議体メンバー選定○協議体の運営

【結果】 ざいこうじるーぴんの会を設立

主な内容（別添資料参照）

○財光寺地区に介護サービス卒業後の受け皿がないよね。

⇒財光寺10地区への介護予防教室を開設

○運営する人を作らないといけないよね。

⇒介護予防サポーター財光寺ルーピンの会会員を養成

○無償ボランティアでは長続きしないよね。

⇒地元財光寺商店会が活動実績に基づき商品券をメセナの一環で出資

○体操や認知機能向上のための何かができるといいよね。

⇒会員により、いきいき100歳体操や認知体操を実施

○素人でできるの？

⇒7回シリーズの会員に対する養成講座を実施

※100歳体操・そのほかの体操の実施方法・注意点

※認知症の正しい理解とその対応

⇒生活支援コーディネーターがコーディネートした専門家が養成

解決型会議との意識付けの結果

○仕分け会議

- ・生活支援コーディネーター、社協、地域包括支援センター、行政出席のもと直近3週間内に抽出された課題の状況、自助・共助・共助・公助の性質判断、実施期限、実施期間を仕訳け。
- ・仕分けの段階で眠っていた地域資源が抽出され、その場で解決することも多い。

○第2層協議体

- ・課題に特化した団体・個人をメンバーに組織
- ・よって、内容に合わせてメンバーが変動
- ・これまでであれば福祉分野に関わりがなかったメンバー、団体もあり、地域資源の一部という認識付けが深化

○課題抽出会議に対する振り返りの実施を義務付け・報告

- ・課題を抽出すると結果が出ることを意識付けすることにより、会の意識が向上
- ・自助・共助の部分を自ら解決するよう促すことにより、言いっぱなし、やりっぱなしをなくすことにより、我がこと意識が維持

すべては、市民のために

- 和合海（色々な意見があるが目標は一つ）
2025年までマイナス9年（どこまで進めるか？）
- 今日の一針、明日の十針（今やらなければ）
- 巧言令色鮮し仁（きれいごとを言っている）
 - ※思いが強い人が多いだけに、人間対人間のぶつかり合いに正直疲れることも・・・。
 - ※専門職・住民にも覚悟を持ってもらうことの必要性
 - ※行政としてもあいつら意識を捨て、どっぷりはまり込む覚悟が必要